

林業体験講座

6月6日（金）・7日（土）の2日間で、「林業体験講座」が行われました。

場所は、秩父市大滝の「埼玉県立大滝げんきプラザ」で、標高900mの山の中にあり、自然に囲まれた施設です。この講座は庄和地区市民大学が力を入れている講座の一つで、学生たちにも人気があり、コロナが第5類に移行になった昨年より再開されました。

今年の参加者は、学生22名、運営委員6名の計28名です。

大学開講の早い時期に宿泊学習を行うのは、できるだけ早くお互いに顔と名前を覚えて仲間作りの手助けをするためです。



朝7時30分に南桜井駅北口に集合、大型バスで、途中休憩をしながら、12時過ぎに「元気プラザ」に到着。途中、野生のシカに出会いました。

● 1日目の体験学習は「薪作り」

直径30cm、長さ2mほどの丸太を、協力しながらのこぎりで40cm位に切り、さらに斧（おの）で割り、薪にします。斧に触れるのが初めての学生も、何十年ぶりという学生も、一生懸命汗をかきながら楽しそうに作業をしました。出来上がった薪は、子供たちが来たときに、キャンプファイヤーで利用するそうです。





その後、屋内の談話室で運営委員長により、年度末に行われる「自由研究発表」の説明と、テーマの検討を行いました。

● 2日目の体験学習は「孫の手作り」

講師の方の説明を聞き、孟宗竹を切ったり、割ったり、削ったり、みんな個性豊かな孫の手を作り上げていきました。

その後、自作の「孫の手」をお土産に、「元気プラザ」を出発、夕方5時に予定通り南桜井駅に帰ってきました。

「普段できないことを体験でき楽しかった」「大自然に触れることができ、心が洗われた」「埼玉で野生のシカを見るなんてびっくり」「2日間を共にする事で、仲間意識が生まれた」「バスの中でも、運営委員の方の貴重な体験談を聞けたり、クイズをしたり楽しかった」等々、感想を述べてくれました。

2日間、事故も病気もなく無事に講座を終えることができたのは、皆さんの協力のおかげです。ありがとうございました。

文書作成・撮影：庄和地区市民大学運営委員

